

2023（令和5）年度

社 会

注 意

- 問題は①～⑥で、13 ページあります。
解答用紙は 1 枚です。
- 時間は 30 分です。指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
- 文字はていねいに書くこと。

- 1 次の文章は、昨年（2022年）8月に日本のある都市で開かれた「平和記念式典」において、2人の小学生が読み上げた「平和の誓い」の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

あなたにとって、大切な人は誰ですか。

家族、友だち、先生。

私たちには、大切な人がたくさんいます。

大切な人と一緒に過ごす。笑い合う。

そんな当たり前の日常はとても幸せです。

（ A ）年8月6日 午前8時15分。

道に転がる死体。

死体で埋め尽くされた川。

「水をくれ。」「水をください。」という声。

大切な人を一瞬で亡くし、当たり前の日常や未来が突然奪われました。

あれから ※ 年経ちました。（※には（ A ）から昨年までの経過した年数が入る）

①今この瞬間も、日常を奪われている人たちが世界にはいます。

戦争は、昔のことではないのです。

（略）

②過去に起こったことを変えることはできません。

しかし、未来は創ることができます。

悲しみを受け止め、③立ち上がった被爆者は、私たちのために、

平和な（ B ）を創ってくれました。

今度は私たちの番です。

被爆者の声を聞き、思いを想像すること。

その思いをたくさんの人に伝えること。

そして、自分も周りの人も大切にし、互いに助け合うこと。

世界中の人の目に、平和な景色が映し出される未来を創るため、

私たちは、行動していくことを誓います。

- (1) 上の文章中の空らん（ A ）には西暦年、（ B ）にはこの式典が開かれた都市の名前が入ります。Aにあてはまる西暦年を数字で、Bにあてはまる都市名を漢字2字で、それぞれ答えなさい。

(2) 下線部①「今この瞬間も、日常を奪われている人たちが世界にはいます。」ということについて、昨年（2022年）2月24日からヨーロッパで始まった紛争は、**a)** どの国に対して、**b)** どの国が攻め込んだものか、**a)**、**b)** それぞれにあてはまる国名の組み合わせを、次の**ア～カ**から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア** a) ロシア b) ウクライナ
イ a) ロシア b) ドイツ
ウ a) ロシア b) アメリカ
エ a) ウクライナ b) ドイツ
オ a) ウクライナ b) ロシア
カ a) ウクライナ b) アメリカ

(3) 下線部②「過去に起こったこと」について、次の**ア～エ**の文章を読んで、それぞれの文中の下線部の言葉が**まちがっているもの**を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア** 1894年、朝鮮で国内の政治改革を求める反乱が起こり、清が朝鮮政府の求めに応じて軍隊を送ると、日本もこれに対抗して朝鮮半島に軍隊を送り、日清戦争が始まった。日本はこれに勝利し、台湾やリュウキョウ半島などを領土にしたほか、多額の賠償金を得た。
イ 1904年、満州で勢力を広げるロシアに対して、日本国内で危機感が高まり、日本軍はロシアと戦争を始めた。これが日露戦争である。日本海海戦ではロシアの艦隊を破ったが、両国ともに戦争を続けることがむずかしくなったため、イギリスの仲介で講和を結んだ。
ウ 1931年、満州にいた日本軍は、南満州鉄道の線路を爆破し、これを中国軍のしわざだとして、攻撃を始めた。これを満州事変という。満州全土を占領した日本軍は満州国をつくり、政治の実権をにぎった。
エ 1939年、ヨーロッパで第二次世界大戦が始まった。日本はドイツ・イタリアと軍事同盟を結び、アジアに資源を求めて軍隊を進めた。アメリカと日本の対立が深まるなか、1941年、日本軍はアメリカのハワイやイギリス領のマレー半島を攻撃し、戦争を始めた。

(4) 下線部③「立ち上がった被爆者」たちのように、様々な人々が平和を求めて行動してきました。第二次世界大戦後の日本や世界の動きについて説明しているものを、次の**ア～エ**から**すべて**を選び、記号で答えなさい。

- ア** 戦争に敗れた日本では、新たな国づくりの基本となる憲法の制定に向けて、広く国民の意見を聞いて政治を進めるべきだという自由民権運動が始まったが、政府はこれを厳しく取りしまりながら、1946年に大日本帝国憲法を發布した。
イ 日本の国会は、1971年に「核兵器を持たない、つぐらない、使わない」という非核三原則を決議した。
ウ 第二次世界大戦で戦場となった沖縄は、日本が独立したあともアメリカの占領が続いたが、祖国復帰をめざす運動が粘り強く続けられてきた結果、1972年に日本に返された。
エ 核兵器の製造、実験、保有、使用などすべてを禁じる「核兵器禁止条約」について、国際連合で条約が採択された時、その実現にむけて被爆者が先頭に立って呼びかけた。

2 次の年表や資料A～Cを見て、あとの問いに答えなさい。

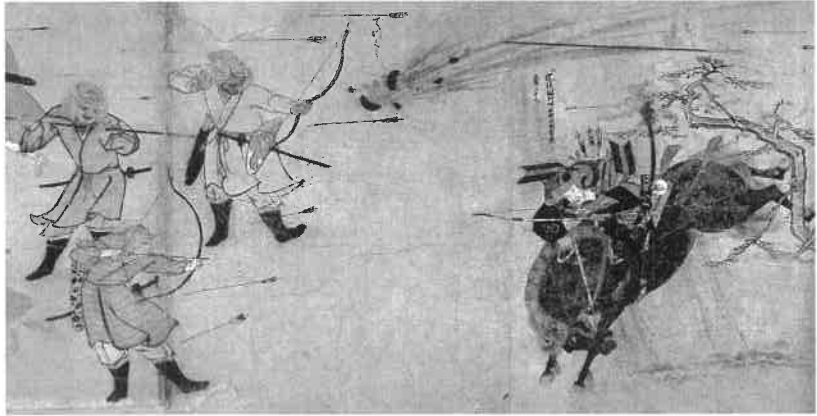
〈年表〉

年	出来事
1159	平治の乱で勝利した平清盛を中心に、平氏が政治の実権をにぎる。
1181	平清盛が病気で亡くなる。 ① 1181～1185年のあいだ
1185	源氏の軍が平氏の軍を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼす。
1192	源頼朝が征夷大将軍に任命される。 ② 1192～1221年のあいだ
1221	幕府を倒そうとした朝廷軍が破れる。
1274	外国の軍隊が九州に攻めてくるが、日本の武士たちが撃退する。 ③ 1274～1281年のあいだ
1281	再び外国の軍隊が攻めてくるが、これも撃退する
	④ 1282～1333年のあいだ
1333	北条氏がほろぼされる。
1397	京都に〈資料C〉が建てられる。

〈資料A〉

北条政子は、集まってきた御家人に対して次のようにうったえました。
「みな心を一つにしてわたしの言うことを聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝様が平氏をたおして鎌倉に幕府を開いてからのご恩は、山よりも高く、海よりも深いものです。お前たちも感謝の気持ちが浅くないでしょう。名誉を大切にすする者は、早く敵を討ち取り、源氏3代の将軍がきざきあげたものを守りなさい。」
これを聞いて、御家人たちは奉公をちかい、京都にせめのぼりました。

〈資料B〉



〈資料C〉



(1) 年表中の平清盛について述べた次のア～エから、まちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 中国（当時の唐）との貿易に力を入れ、兵庫の港（いまの神戸）を整備した。
- イ 自分の娘を天皇のきさきにしたり、朝廷の重要な地位に平氏の一族をつけたりした。
- ウ 海上交通の安全を願って、厳島神社を平氏一族で厚く敬った。
- エ 武士として初めて太政大臣となり、武家の決まりである武家諸法度を定めた。

(2) 年表中の源頼朝について述べた次のア～エから、まちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 家来である御家人を守護や地頭に任命し地方に配置した。
- イ 壇ノ浦で平氏をほろぼしたあと、そのときに活躍した弟の源義経を幕府の執権に取り立てた。
- ウ 征夷大將軍として、將軍に従う大名たちを親藩・譜代・外様の3つに分け、領地を取り上げたり、配置がえを行ったりして、幕府の政治を固めた。
- エ 鎌倉で武士による政治のしくみを整え、鎌倉幕府とよばれる政府をたてた。

(3) 〈資料A〉は北条政子の演説について述べたものです。この演説は、年表の①～④のどの時期に行われたものか、①～④から一つ選び、番号で答えなさい。

(4) 〈資料A〉の演説にでてくる「ご恩」と「奉公」について、次のア～エから、「奉公」について述べたものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 戦いが起これば「いざ鎌倉」とかけつけ、幕府のために戦った。
- イ 戦いで手がらを立てた武士に、新しい領地をあたえた。
- ウ 戦いのないときには、鎌倉や京都を守る役についた。
- エ 家来として従うことをちかった武士に先祖からの土地の所有を認めた。

(5) 〈資料B〉は、年表中の外国の軍隊との戦いの一場面を絵に描いたものです。この戦いとその後について述べた次のア～エから、まちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 戦いの前に使者を送ってきたのはモンゴルで、すでに中国に明という国をたて、朝鮮をも従えていて、日本にも従うように要求してきたが、幕府はこの要求を退けた。
- イ 相手の用いる火薬の兵器に、日本の武士は集団戦法で戦い、激しく抵抗した結果、相手は大きな損害を受けて引き上げていった。
- ウ 日本側は次に攻めてくることに備えて、博多湾に防塁（石塁）とよばれる石垣をきずき、また九州の守りをかためるために全国から兵をあつめて準備した。
- エ 幕府は活やくした武士たちにはうびとして新しい領地をあたえることができず、武士たちの中には、生活に困る者もいて、幕府に不満を持つようになった。

(6) 〈資料C〉は、年表中の1397年に建てられたものです。この建物と、建てることを命じた人物について述べた次のア～エから、まちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア この建物は、足利義満が建てさせたもので、外側に金ぱくをはるなど、はなやかな文化が栄えた時期のものである。
- イ この建物は、足利義政が建てさせたもので、2階建ての1階部分には、現代の和室のもととなった書院造という建築様式が用いられた。
- ウ この建物を建てさせた人物は、中国（当時の清）との貿易に力を入れ、たくさんの富をたくわえた。
- エ この建物を建てさせた人物が將軍のころ、大名同士の争いである「応仁の乱」が11年間にわたって続き、京都のまちが焼け野原になった。

3 次は、竹子さんが社会科で日本の政治の学習をまとめたものです。あとの問いに答えなさい。

私たちは、①平和を守り、②国民として積極的に政治に参加していくことが大切だと考えました。③国会で決められたことにしたがって、実際に国民の暮らしを支えているのは④内閣です。よりよい社会をつくるためには、まず、⑤国民の義務や権利について知ることが大切だと思いました。

(1) 下線部①に関連して、次の文章は、第二次世界大戦以後の日本について述べたものです。文章の中の㉗～㉙からまちがっているものをすべて選び、記号で答えなさい。

第二次世界大戦後、世界の平和を守るため、㉗国際連盟がつくられました。しかし、㉘アメリカとソ連の対立が深まる中、1950年に朝鮮戦争が起きました。この時、日本では、連合国軍総司令部の指令によって、㉙現在の自衛隊のもとになる警察予備隊がつくられました。

日本は、1951年の講和会議でアメリカや㉚中国と平和条約を結び、主権を回復しました。

(2) 下線部②に関連して、国民主権の例について述べたものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国民は、20歳以上になると、国会議員の選挙で、投票することも立候補することもできる。
- イ 国民は、都道府県知事を選挙で選び、知事は市区町村長を任命する。
- ウ 国民は、地方裁判所の裁判官が適しているかどうかを審査する。
- エ 国民は、国民の投票によって、憲法の改正を最終的に決定する。

(3) 下線部③に関連して、国会の仕組みや国会議員の仕事について述べた、次のア～エから**まちがっているものをすべて**選び、記号で答えなさい。

- ア 国会は、法律を制定できる**唯一**の機関であり、予算を議決して国のお金の使い道を決める。
- イ 国会は、内閣総理大臣や最高裁判所の長官を任命する役割がある。
- ウ 衆議院議員の任期は4年で、解散があるのに対し、参議院議員の任期は6年で、解散はない。
- エ 国会議員は、外国と条約を結んだり、法律や条約を公布したりする。

(4) 下線部④の役割やきまりについて述べたものを、次のア～エから**すべて**選び、記号で答えなさい。

- ア 内閣の閣議の決定は、全員一致を原則としている。
- イ 内閣は、条例を制定したり、改正、廃止したりすることができる。
- ウ 国会で指名された総理大臣は、内閣の最高責任者として、国务大臣を任命する。
- エ 内閣のもとに置かれている省や庁で、予算や財政などに関する仕事をするのは、厚生労働省だけである。

(5) 下線部⑤について、次のア～エから**まちがっているものを一つ**選び、記号で答えなさい。

- ア 国が行う仕事にかかる費用には、国民が義務として納めている税金が使われている。
- イ 選挙に行くことは、権利であると同時に義務として定められている。
- ウ 働くことは、権利であると同時に義務として定められている。
- エ 裁判を受ける権利は、私たちが地域社会の中で起きた問題を解決する方法の一つである。

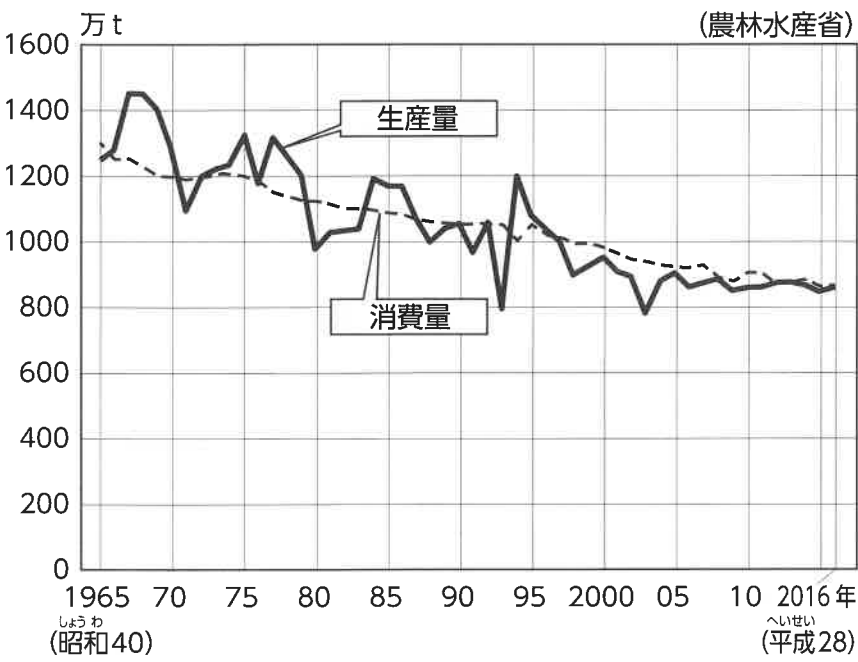
4 日本の農業と漁業について、あとの問いに答えなさい。

(1) 米づくりには、一年を通してさまざまな作業がありますが、安全でおいしい米を収穫するための農家の工夫について述べている次のア～エから、**まちがっているものをすべて**選び、記号で答えなさい。

- ア 田植えをするまでのあいだにじょうぶな苗を育て、田おこしをして、栄養分のあるよい土をつくっている。
- イ 水田の水は保温効果があるので、気温が下がるときは、水の量を減らして、稲を寒さから守っている。
- ウ せまい農地で収穫量を増やすために、これまでは農薬や化学肥料をたくさんつかっていたが、最近では農薬や化学肥料をできるだけ減らしたり、たい肥をつかったりしている。
- エ コシヒカリは、味もよく、消費者に評判がよいが、病気に弱くて、たおれやすく、収穫量も少ないので、夏の気温の上がない東北・北海道では栽培していない。

(2) 次の資料Ⅰは、米の消費量と生産量の変化をあらわしたものです。資料Ⅰから読みとれることについて、次のア～エから**一つ**選び、記号で答えなさい。

資料Ⅰ 米の消費量と生産量の変化



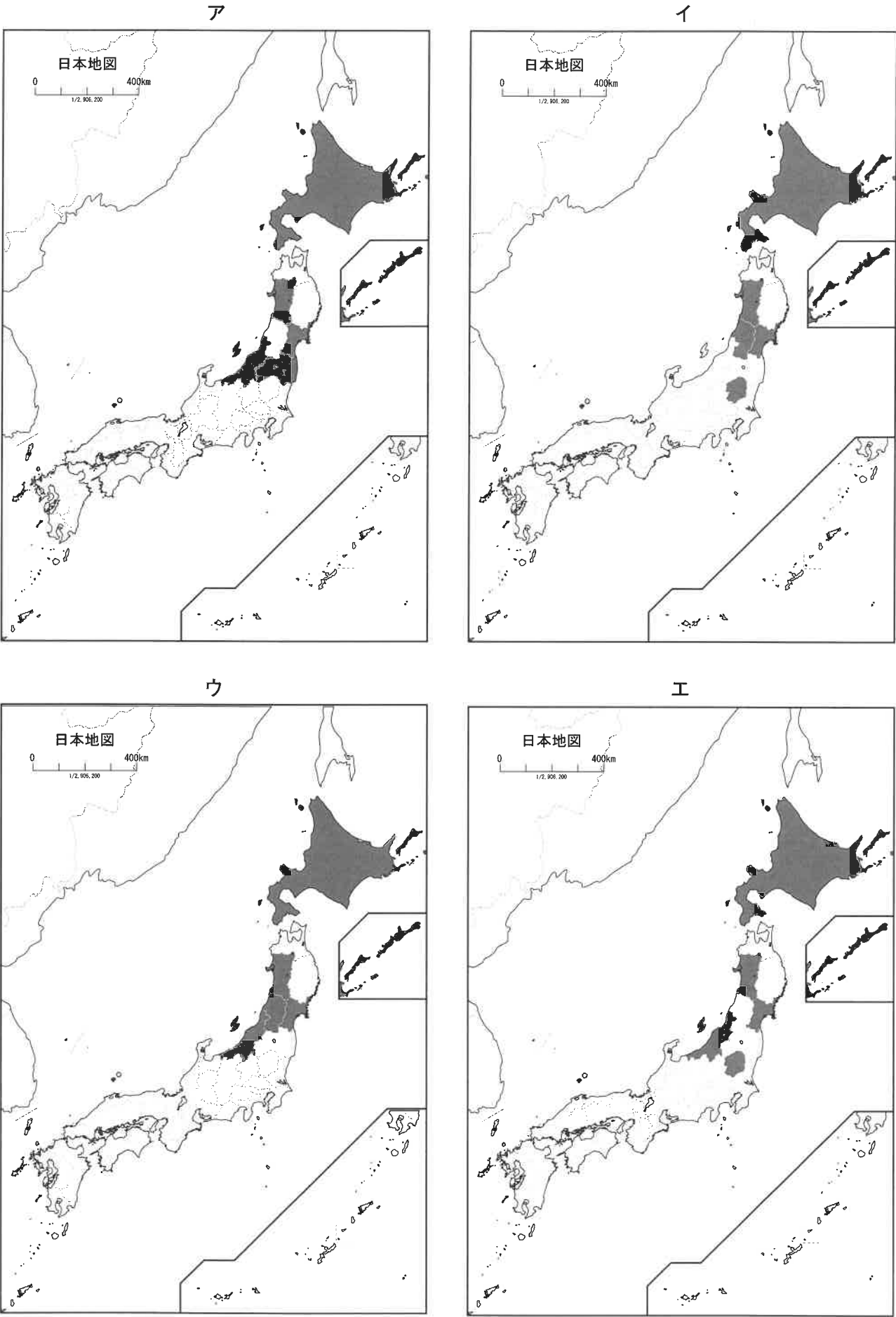
- ア 1960年代の後半ころから、日本人の食生活が変化してきて、生産量が消費量を上回るようになってきたので、2016年まで米は毎年余り続けていることがわかる。
- イ 米の消費量は全体としては下がってきているが、家畜のえさ用の米の消費は減っていないので、消費量は年によっては大きく上下していることがわかる。
- ウ 日本全体での米の生産量と消費量はともに減ってきているが、消費量が生産量を上回っている期間が長いのは、1980年から90年よりも、2000年から2010年の方である。
- エ 1965年と2016年を比べると米の消費量が大きく減っていることから、国が続けてきた減反の目標を設定する必要がなくなったので、これから先も米不足の可能性はまったくなくなったことがわかる。

(3) 次の資料Ⅱは2021（令和3）年の米の収穫量を都道府県別に並べたものです。収穫量の1位から5位までの都道府県を示した地図を，次のア～エから選び，記号で答えなさい。

資料Ⅱ

都道府県	収穫量（t）	都道府県	収穫量（t）
北海道	573,700	滋賀	156,200
青森	256,900	京都	71,600
岩手	268,600	大阪	22,600
宮城	353,400	兵庫	175,800
秋田	501,200	奈良	43,200
山形	393,800	和歌山	30,300
福島	335,800	鳥取	63,600
茨城	344,800	島根	87,500
栃木	300,900	岡山	150,900
群馬	73,300	広島	115,900
埼玉	152,400	山口	93,100
千葉	277,800	徳島	47,900
東京	486	香川	56,600
神奈川	14,400	愛媛	67,300
新潟	620,000	高知	49,600
富山	200,000	福岡	163,700
石川	125,400	佐賀	118,800
福井	126,200	長崎	50,800
山梨	25,800	熊本	156,300
長野	189,900	大分	95,500
岐阜	103,200	宮崎	77,800
静岡	77,400	鹿児島	89,100
愛知	130,900	沖縄	2,160
三重	130,200		
		全国	7,563,000

出典：「令和3年産水陸稲の収穫量」（農林水産省より）



(4) 日本の漁業生産量は減少してきています。その理由としてまちがっているものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本の近海で魚をとりすぎてしまったことで、養しよく漁業の生産量がへってきているため。
- イ 漁業で働く人の数が年々へってきているため。
- ウ 外国の沿岸から200海里（約370km）のはんいの海で、日本の船がとる魚の量をきびしく制限され始めたことで、遠洋漁業の生産量がへったため。
- エ 外国から安い魚を輸入することが増えたため。

(5) 竹男さんのクラスでは、日本の漁業のさかなな地域の人たちのくふうや努力について、調べたことをまとめて発表をしました。発表に使用したカード①～③と資料A～Fの組み合わせとしてもっともてきせつなものを、下のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

カード①

魚のたまごから稚魚を育てて海に放流する「さいばい漁業」や、親魚を育ててたまごを産ませて、稚魚をそだてる養しよくの技術を高めたりしています。

カード②

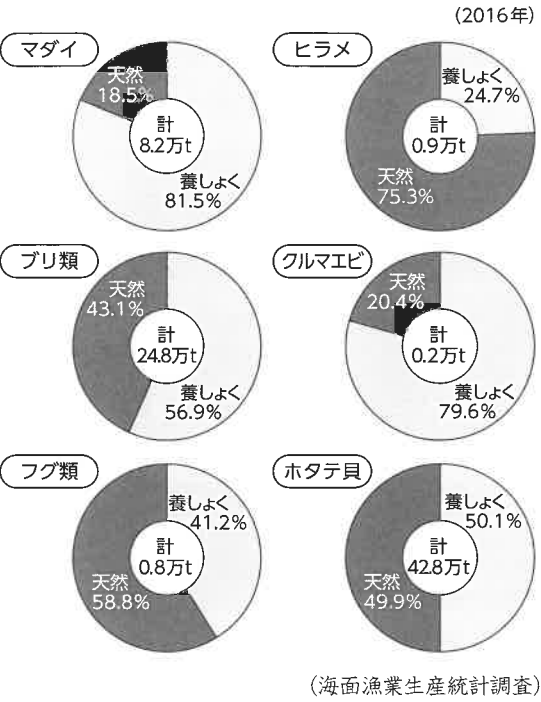
世界で魚の消費量が増えているため、日本をはじめ、世界の国々が集まって話し合い、漁船の数やとる量、魚のできる期間を制限して、管理することにしました。

カード③

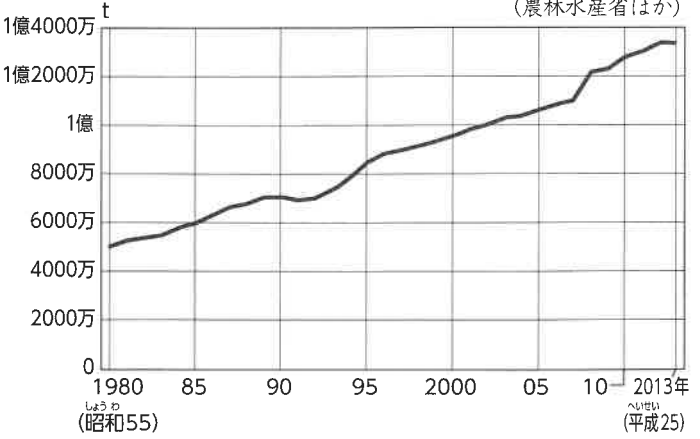
とれた魚を新鮮なまま運ぶためには、温度を一定に保つことが必要です。魚の価格には市場で売られる費用や出荷業者の輸送費なども含まれます。

	カード①	カード②	カード③
ア	A	E	D
イ	B	D	C
ウ	C	F	A
エ	A	B	D
オ	E	B	F
カ	C	D	B

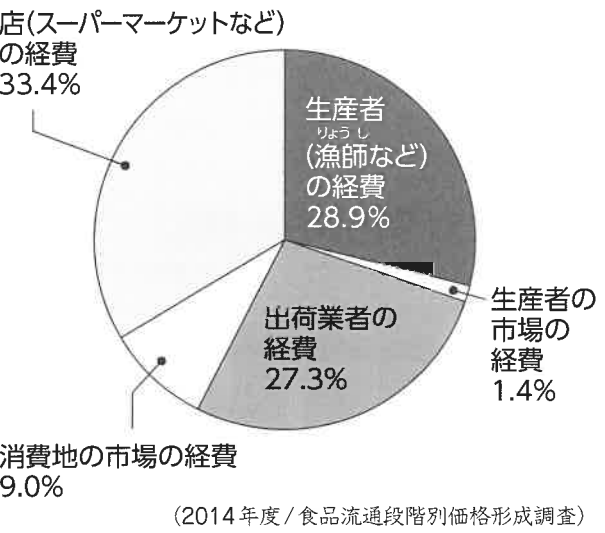
資料A 養しよくのしめるわりあい



資料B 世界の水産物の消費量の変化



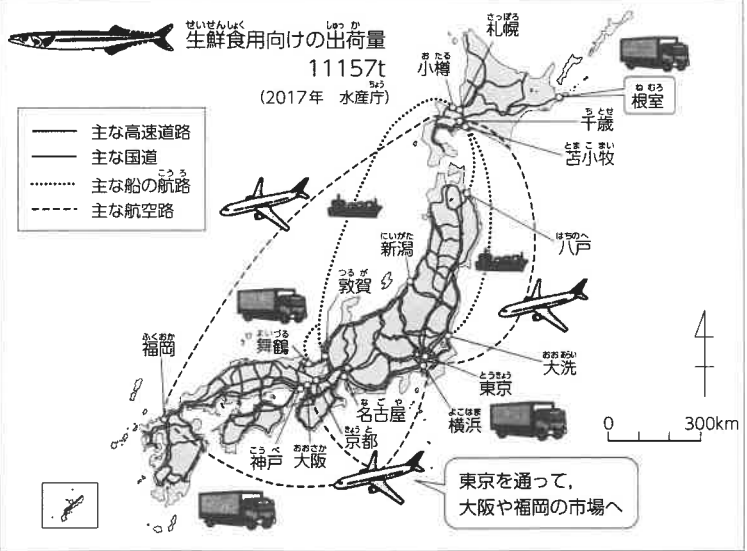
資料D 魚の価格の内わけ



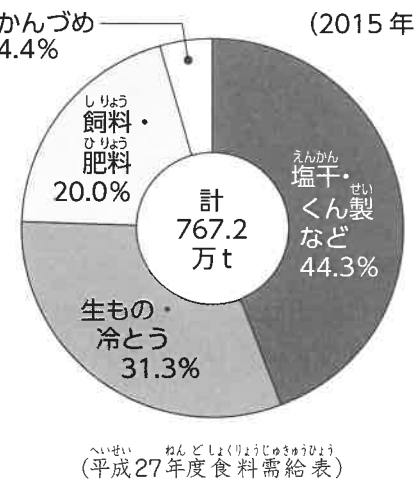
資料C 海のエコラベル



資料E 根室のさんまを輸送する主な交通機関

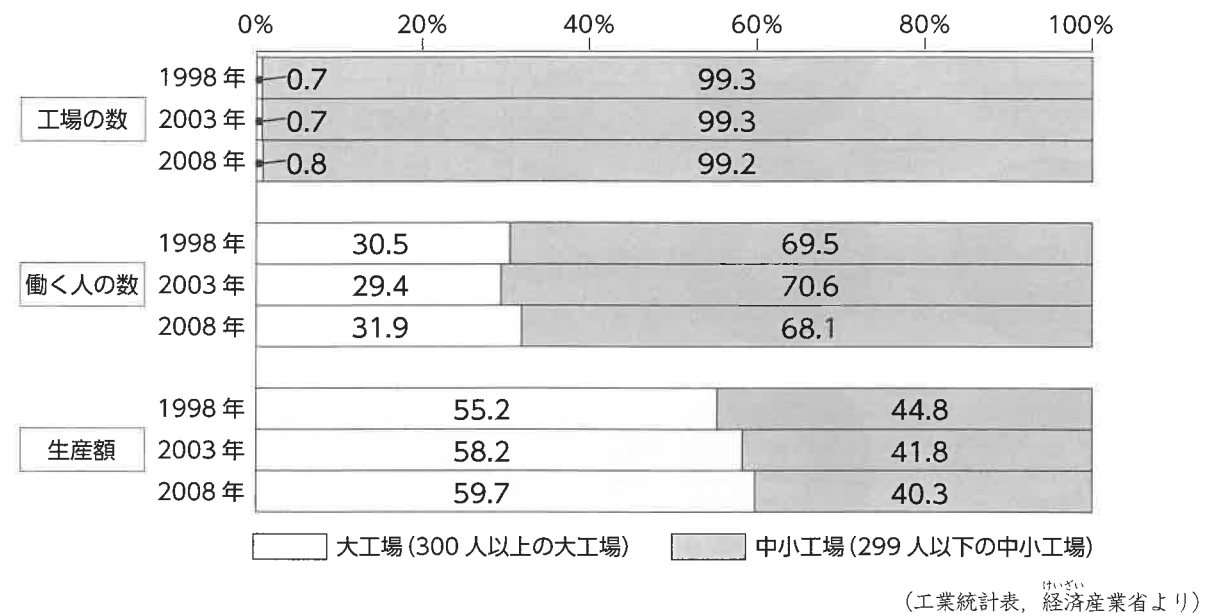


資料F 水産物の利用の内わけ

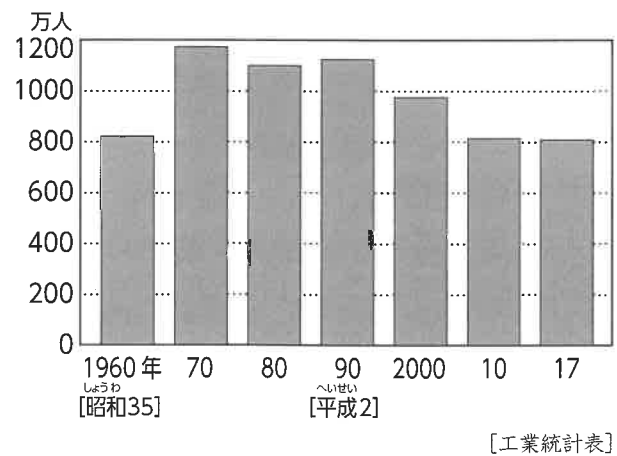


5 次の資料①・②・③は日本の工業について表したものです。あとの問いに答えなさい。

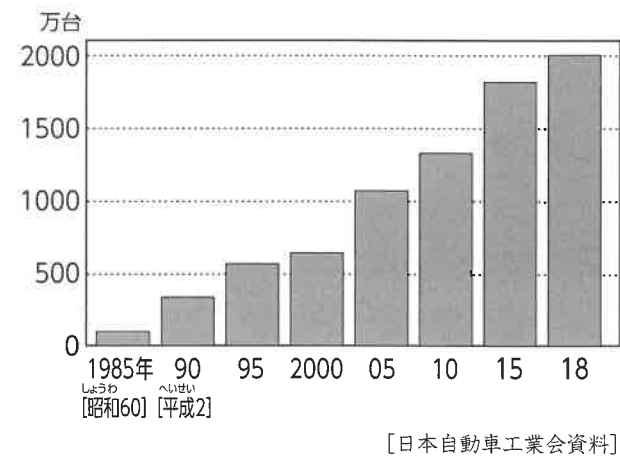
資料① 製造業の工場の数、働く人の数、生産額の規模別構成の変化



資料② 製造業で働く人口の変化



資料③ 自動車の海外生産台数の変化



(1) 資料①・②・③をもとに、日本の工業の特色について述べたものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 製造業で働く人の数は、1960年から増えつづけていたが、1990年以降はへり続けている。
- イ 2008年の工場の数は、300人以上の大工場の方が少ないが、働く人の数と生産額では、299人以下の中小工場の方が少ない。
- ウ 自動車の海外生産台数と製造業で働く人口は、ともに2000年に急激にのびている。
- エ 1998年から2008年まで、大工場と中小工場の工場の数の割合と、働く人の数の割合はほとんど変化がないのに比べて、生産額の割合は大工場の割合が増えてきている。

(2) 資料②・③をもとに、日本の工業が変化した理由について述べたものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 資料③から、1985年と1990年を比べて海外生産台数が大きく増えているのは、1980年代にアメリカなどとのあいだで貿易まさがはげしくなったことで、日本の会社では外国に工場を移して、相手国で生産するようになったためである。
- イ 資料②から、製造業で働く人口は1980年が最も多く、それ以降は減り続けているのは、少子高齢化が進んで、製造業で働く世代の人口が減ってきているためである。
- ウ 資料③から、海外生産台数の1985年と1995年を比べた増加率よりも、2000年と2010年を比べた増加率のほうが大きいのは、1990年代から日本よりもすぐれた工業製品を大量に安く生産するアジアの国々が増えて、日本の貿易は輸入が多くなってきたためである。
- エ 資料②から、製造業で働く人口は1990年が最も多く、それ以降上回る年がないのは、日本は国内での工業製品の生産を減らしたり、外国の工場で作る部品を増やしたりしているためである。

(3) 日本の工業について、これまでの取り組みと、今後の取り組みについて述べた次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 中小企業のもっている高い技術をつかった製品や、日本独自の製品づくりをおこなって、世界中の人から高い評価を得られるようにしていること。
- イ 日本の持っている優れた技術をいかして、安全で環境にやさしい製品づくりを目指していること。
- ウ 日本は国内に豊富にある天然資源を海外に輸出し、外国からは様々な工業製品を輸入して貿易をさかんにしていること。
- エ 工場同士で情報のやりとりを行って、協力しながら製品の開発に取り組み、高い技術をいかして新しい商品の開発に取り組んでいること。

6 次の問いに答えなさい。

(1) 日本は4つの大きな島と、多くの島々が集まってできていますが、日本の領土のなかで、南のはしの島を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 択捉島 イ 与那国島 ウ 沖ノ鳥島 エ 南鳥島

(2) 次の文章の空らん（ A ）にあてはまる言葉を漢字3字で答えなさい。

冬には北西（ユーラシア大陸）から、冷たい（ A ）が日本海をわたってふきます。この風は、日本海をわたるうちに、じょうはつした水分をふくんで、雲をつくります。

夏になると、南東（太平洋）から高温でしめった（ A ）がふいてきます。そのため、太平洋側では、雨がたくさんふり、むし暑い日がつづきます。

受験番号	氏 名

社 会

※印には何も書かないこと

1

(1) A	(1) B	(2)	(3)	(4)

※

--

2

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

3

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

※

--

4

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

5

(1)	(2)	(3)

6

(1)	(2)

※

--